

PMI 日本支部のアカデミックスポンサーの一つである、慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科では、PMI 日本支部後援の元、過去 10 年間 PMP 試験対策講座を実施しています。今回、そのコースでの合格者が通算 50 名を超えたことを記念して同窓生を対象にしたワークショップを実施しました。

ワークショップの内容は、PMIef (PMI 教育財団) のボランティアで企画・開発しました。今回は、復興支援を題材に、アジャイル要求分析をテーマにしました。当日は教室でのランチョンパーティの後、11 名の参加者で活発な議論が行われました。今回、この貴重な機会をいただいた、慶應 SDM の当麻先生、大塚先生には、この場を借りて深く御礼申し上げます。

日時：3月2日(土) 13:00~18:00  
場所：慶應義塾大学日吉キャンパス  
講師：大山(主担当)、伊藤(補佐)、当麻先生(オブザーバ)  
参加費：無料



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科  
システムデザイン・マネジメント研究所  
マネジメントデザインセンター主催

Keio University  
SDM  
PMI JAPAN CHAPTER

協力：富士ゼロックス総合教育研究所  
後援：一般社団法人 PMI 日本支部

**プロジェクトマネジメントのプロになる  
PMP®資格受験対策講座**

【PMP®対策講座】4日コース(PMBOK第6版対応)  
2019年2月23日(土)、24日(日)、3月2日(土)、3日(日) 9:00-18:00  
(※ 3月2日にOBのPMPの方々と懇話会を行う予定です)

対象：PMP®資格取得をめざし勉強されたい方  
※PMBOK®ガイド第6版(日本語版)をご購入の上ご参加ください。  
購入先：PMI 日本支部ブックストアP ([https://www.pmi-japan.org/bookstore/pmi\\_jsp/](https://www.pmi-japan.org/bookstore/pmi_jsp/))  
(※送料：Amazonからご購入いただけます。)

会場：慶應義塾大学日吉キャンパス  
受講料：120,000円(テキスト代含む) ※税別

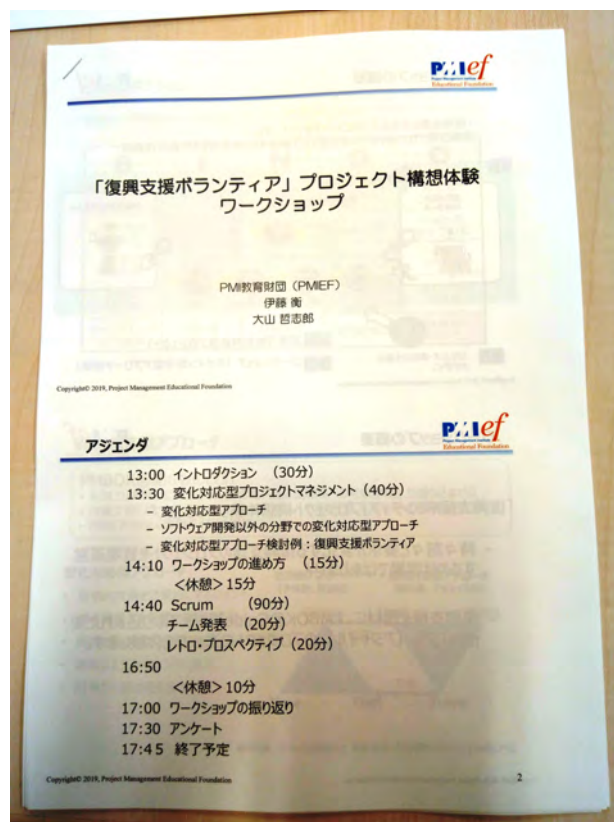
【PMP®模試と解説】1日コース  
2019年3月10日(日) 10:00-18:00

対象：PMP®資格受験直前に実力を確認されたい方  
会場：慶應義塾大学日吉キャンパス  
受講料：30,000円(テキスト、模試代含む) ※税別

【講師】  
大塚有希子  
PMP, PhD, SDM専攻

【PMP®受験対策セット】上記2コースのセット  
受講料：135,000円(テキスト、模試代含む) ※税別  
※上記2コースをセットで受講される場合はそれぞれの受講料を1割引きさせていただきます。  
※PMP®受験のための最新学習資料(印刷物)も提供(終了証も発行します)

お問い合わせは：[www.sdm.keio.ac.jp](http://www.sdm.keio.ac.jp)  
慶應義塾大学 日吉学生部 大学院担当  
(TEL:045-564-2518)



「復興支援ボランティア」プロジェクト構想体験  
ワークショップ

PMI教育財団 (PMIEF)  
伊藤 衛  
大山 哲志郎

Copyright © 2019, Project Management Educational Foundation

**アジェンダ**

- 13:00 イントロダクション (30分)
- 13:30 変化対応型プロジェクトマネジメント (40分)
  - 変化対応型アプローチ
  - ソフトウェア開発以外の分野での変化対応型アプローチ
  - 変化対応型アプローチ検討例：復興支援ボランティア
- 14:10 ワークショップの進め方 (15分)
  - <休憩> 15分
- 14:40 Scrum (90分)
  - チーム発表 (20分)
  - レトロ・プロスペクティブ (20分)
- 16:50
  - <休憩> 10分
- 17:00 ワークショップの振り返り
- 17:30 アンケート
- 17:45 終了予定

Copyright © 2019, Project Management Educational Foundation





### アンケートより（一部抜粋）

- なかなか触れる機会がないアジャイルを体験できた。業務のあらゆる場面でも一人で悩まず周囲を巻き込んで進めて相談することで見えてくるものもあると感じた。子供のうちからPMに触れる機会があることは非常に有意義だと感じた。ワークに取り掛かる際、何をするのか不明確で時間をロスした。その点が明確になれば時間効率も上がり、より充実したものになる気がする。
- アジャイル開発手法の言葉だけの理解だったが、ワークショップを通じて体感できた。自分で思っているものとは全く違った。このようなワークショップは是非継続して参加したい。
- アジャイルに関する理解が進んだ。仕事を進める上で有効なスキルと考える。
- アジャイルとは何か理解していなかったが、理解することができた。コンパスを示す中で、滞ることなく先に進めることが重要。決めたことが絶対ではなく、気になることがあれば次のスプリントがやり取りするという姿勢は役に立つ
- PMは幅広い知識が必要だと思うが、スキルと同時にPMの人間力が問われると思う。その人間力向上について答えはないが研究していきたい。
- 短時間だがアジャイルを体験できた。IT プロジェクトはベンダーに丸投げするケースが多いが、発注者としてのプロジェクトマネジメントが重要だと感じている。
- 全体の流れとSDMとの関連がイメージできた。中学生ぐらいからPM教育ができると良いと感じた。
- アジャイル開発の流れが一通り体験でき、全体としてどのような内容特性かということが理解できた。ライフスキルとしてのPMの重要性を理解します。二児の父親として今回のワークショップでPM教育に興味が出ました。システムズ・エンジニアリング、デザイン思考等の範囲の重なる他分野との融合ができればより良いものになると思いました。
- アジャイルでの用語、考え方など学びました。できる範囲で、PMI 教育財団の活動にも参加したいです。正直 PDU の取得には苦労します。上記のボランティア活動で PDU 取得できれば嬉しいです。
- 短時間でアジャイル手法を体験できた。普段の仕事でもアジャイル手法を使っていますが、スプリントレビューでのステークホルダーの巻き込み、デザイン手法の使用を意識したい。

### PMI 教育財団の活動について

- 活動に参加したい（2名）
- 活動内容を知りたい（6名）
- 興味がない（3名）

### PMI 教育財団（PMIef）について

ライフスキルとしてのプロジェクトマネジメントを若者に教育することを目的に、無償でのコンテンツ提供や奨学金の支給などを行っている国際的な団体で、運営資金は寄付金で賄われています。本ワークショップは、PMI 教育財団のボランティア活動として無償で提供しました。PMIef では引き続き、幅広い層を対象に PM 教育の推進・実践を継続してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。